

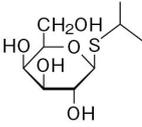
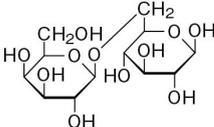
正 誤 表

「コンパス分子生物学」(第3版第1刷)

下記の箇所にて誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	行, 箇所	誤	正
10	図1・9	<p>(下図に差し替え)</p> <p>図1・9 ピリミジンヌクレオチドの生合成 (de novo 合成)</p>	<p>正</p>
12	下から4行目	アロステリック制御を受ける。	<p>アロステリック制御を受ける*。 (注釈として以下を追加) * ヒトのアスパラギン酸カルバモイルトランスフェラーゼには触媒サブユニットだけが含まれていて、細菌の酵素複合体でみられる制御サブユニットは含まれないので、CTPによる制御を受けない。</p>
17	ポイント上から2行目	相同染色体	常染色体
18	上から5行目	性染色体と1組の相同染色体	1本の性染色体と22本(22種, 各1本)の常染色体
	上から6, 7, 8, 11行目	相同染色体	常染色体

頁	行, 箇所	誤	正
71	図 3・22	(下図に差し替え)	正
		<p>図 3・22 翻訳の終結</p> <p>P 部位：ペプチジル部位, A 部位：アミノアシル部位, E 部位：tRNA の脱出部位。 AA_{n-1}, AA_n は翻訳されたタンパク質を構成している個々のアミノ酸を示す。</p>	
86	図 3・33	リジン	リジン
87	図 3・34	非対称トリメチル化体	非対称ジメチル化体
92	図 3・39	(下図に差し替え)	正
		<p>図 3・39 真核生物の翻訳開始複合体の形成と mRNA 環状化</p> <p>開始因子</p> <ul style="list-style-type: none"> 1A: eIF1A 1: eIF1 2: eIF2 3: eIF3 4A: eIF4A 4B: eIF4B 4E: eIF4E 4G: eIF4G 5: eIF5 	
96	上から 10～11 行目	5'-UTR	原核生物の 5'-UTR
117	上から 14 行目	シグマ σ	デルタ δ
135	上から 3 行目	プライマー (の 3')	プライマー (3')

頁	行, 箇所	誤	正
170	図 6・17	(下図に差し替え)	<div style="text-align: center;">  <p>IPTG</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アロラクトース</p> </div> <p>図 6・17 IPTG とアロラク トースの構造</p>

(株式会社 南江堂 2022.3)